

# オリーブの会通信

2021年12月

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olive.com/>



今年も早師走に入り皆様何かとお忙しい毎日ではないでしょうか。事務所&居場所の大掃除も会員とポパイの会の皆さんの協力のもと早々と終わることができました。また新型コロナウイルスの感染については、このところ国内の状況が随分落ち着きを見せて来ており、ひきこもり支援事業（相談、傾聴など）も対面が許され、以前のスタイルでの活動が戻りつつあったと思いきや南アフリカで検出された新たな変異株「オミクロン株」の感染者が日本で初めて確認されたとの報道に不安がよぎります。

## ●第15回KHJ全国大会「実践交流研修会」（初のオンライン大会）が終了

第15回全国大会は11月27日（土）・28日（日）の両日、初めてのオンライン方式で開催されました。これにより、これまで希望はあっても容易に出席できなかった方々がスマホやパソコン等で出席できました。

また、11月例会（28日）には通常の例会会場でこれもオンライン方式で全国の会員と同時にプログラムに参加することができました。

「新しい時代の到来」が言われていますが、その渦中にあるとその変化を客観的に見ることができないことに気づかされます。（P5 参加者の感想一部掲載）

## ●12月月例会今年の締めくくりにご出席下さい。

コロナの影響を受け本年8月に計画しながら中止に至った僧侶（布教使）片岡妙晶さんをお招きしての講演会を12月19日にできることとなりました。

県の警戒レベルも一段と下がり11月20日から「感染予防対策期」になっていますので是非ご出席いただき互いに情報交換を含め励まし合って心新たに新年をお迎えしたいと願います。

**KHJ 本部の「ひきこもり基本法（仮称）法制化検討委員会」の情報**

- 法制化検討委員会は 11 月 10 日に第 5 回目の会議が行われました。会議では KHJ 全国大会の 2 日目（11 月 28 日）に行われる分科会「ひきこもり基本法の検討と推進について」の基本的な進め方、当日発言される藤岡清人本部理事（広島）から法に織り込むべき骨格、今後の推進策等の考え方について提案があり審議の結果了承に至りました。
- 「たびだち」は、次号の 99 号（秋号）と 100 号（冬号）の全国大会合併号として「すべての人が生きやすい社会とは」特集記事を準備中です。発行予定は来年 1 月 10 日です。このため、前回の 98 号発行から次号までの期間が長くなりますがご理解をいただき、期待してお待ちいただくようお願いいたします。（価格は合併号につき従来の 500 円から 1,000 円に変更）  
\*会員の皆様へは 2 月の機関誌と同時に発送予定。

**第 232 回月例会ご案内**

日 時	2021 年 12 月 19（日） 13：30～16：30（受付：13:00～）
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2 階 第 1・第 2 研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel：087-867-7686
内 容	☆一部 13:30～ 会からの諸報告 13:40～ 講演『「ひきこもり」をつくるひと』 講師 僧侶（布教使）片岡 妙晶氏  1995 年 香川県まんのう町生まれ。幼少期より不登校・ひきこもりだった過去を持ち、「世の生き辛さ」と向き合う中で人との関わり方の重要さを実感。「人と人との共存する為の心持ち」を世へ広めるべく布教使となる。 ☆二部（第一部終了後 10 分程度休憩 の後） 15:30～16:30 グループ別 話し合い

**第 233 回月例会ご案内**

日 時	2022 年 1 月 23 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00 (受付 : 13:00 ~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2 階第 1 研修室 (20 名) 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel : 087-867-7686
内 容	<p>☆一部 13:30~ 会からの諸報告 13:40~ 講演「ご自身とご家族・地域・社会にプラスになるように」 講師 (株)よんでんプラス 丹 祐一郎 氏</p> <p>* 同社は障がいをもつ方々の一層の雇用拡大を目的として四電グループ 3 社の特例子会社として設立。 * 会社の方針や、具体的な業務内容、働いておられる方々の実状等についてお話しをいただきます。</p> <p>(演題・講師等一部変更の可能性あり)</p> <p>☆二部 (第一部終了後 10 分程度休憩 の後) 16:00~16:30 グループ別 話し合い</p>

・主に例会の会場として借用中の「かがわ総合リハビリテーションセンター」は細やかな新型コロナウイルスの感染防止対策を実施していますので必ずそれに従って下さい。



## KHJ 香川県オリーブの会 女子会&家族会 in 三豊

開催 (月例) 日時 : 12 月 14 日 (火)、1 月 11 日 (火) 時刻 (両方共) 13 : 30 ~ 15 : 30

場所 : 三豊市たかせ人権福祉センター (高瀬町) 場所の案内のみ (0875) 72-2501

〒767-0011 三豊市高瀬町下勝間 430-1

(三豊市役所庁舎とは国道 11 号線を挟んで反対方向にあります。)

### 報 告

【諸会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり電話相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは☎ 087-802-2567 をお待ちしております — 第5土曜日は全て休みです —	12	4、11 18、25	土	10:00~16:00	加藤ほか
	1	8、15 22、	土	10:00~16:00	加藤ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先：☎ 087-802-2567 — 第1・3土曜日に行います —	12	4、18	土	13:00~16:00	サポーター登録者・平野
	1	8、15	土	13:00~16:00	サポーター登録者・平野

(注) 1月1日(土) は電話相談窓口、当事者傾聴サロンとも休止とします。

初めて参加される方は、(☎ 087-802-2568) オリーブの会までお電話ください。

(運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第9回運営委員会	12	18	土	13:30~16:30	
第10回運営委員会	1	15	土	13:30~16:30	
第11回運営委員会	2	19	土	13:30~16:30	
第12回運営委員会	3	19	土	13:30~16:30	
第13回運営委員会	4	23	土	13:30~16:30	第4土曜

\*ポパイの会(居場所活動) 予定は、同封の「活動ご案内」をご活用ください。

1. UX会議が県・市と協力し香川県内で実施する行事の広告ちらしを会員の皆様には同封しています。

当会も昨年度に続き可能な限りの協力を行うこととしますので行事へのご出席と合わせお誘い、ご協力をよろしくお願いいたします。

●12月22日(水) 「UX ラウンジ in 高松」 場所：高松市(サンポートホール高松)

●12月23日(木) 「UX ラウンジ in 丸亀」(要予約)

場所：丸亀市(丸亀市市民交流活動センターマルタス)

— 詳細については、同封のチラシをご参照ください。 —

.....

去る、10月23日(土) 午後「サンポートホール高松」で行われたUX会議主催の講演会は、盛況であり、当会からも15名程度の出席者がありました。

・講演者：下田つきゆび 氏 (中学生時代に不登校経験者)、林 恭子 氏 (一般社団法人ひきこもり UX会議共同代表理事・高校生時代に不登校を、20代半ばでひきこもりを経験)

2. 一般社団法人 OSD よりそいネットワーク (KHJ 前全国会長 池田佳世氏が代表) が厚労省の助成を受け各種部門の専門的相談者 (弁護士はじめ) による無料相談を実施中です。10 月の機関誌に同封したパンフレットにより期間中のサービスをご活用いただければと思います。

●第 15 回 KHJ 全国大会 (オンライン大会) に参加して (一部紹介)

11 月 28 日 (日) 9:00～ テーマ別分科会交流会

【分科会 2】テーマ：ピアサポーターを活用した支援のあり方

①官民連携におけるピアサポートについて ②ピアサポートのあり方についての交流 の二つのグループから発表があった。①では札幌市委託事業 (委託費約 280 万) ピアサポーターを活用した居場所 (公設民営の集団型支援拠点) 「よりどころ」の事業内容当事者会・親の会、開所日毎週月曜日午後 1 時 30 分～3 時 30 分 午後枠と夜間枠試行 これには驚かされた。また ZOOM オンライン各 1 回含め毎月 4 回実施 ピアスタッフ 4 名・ピアスーパーバイザー 1 名 「よりどころ」設置の背景として 1) 日ごろから行政機関と連絡をとっていた、2) ひきこもりサポート事業の実施、3) 2018 年に札幌市が調査を実施 を挙げたが田中さんのご苦労は、この資料が示す整然とした表や文章の羅列どおり一口ではとても語れないのではないかと思った。(NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク 田中 敦)

また高知の坂本さんの発表からは、2019 年に相談業務の充実のために、ひきこもりの経験者や親によるピアの相談センターを開設してはという提案を受け紆余曲折を経て行政の手厚い支援のおかげで 2020 年「高知ひきこもりピアサポートセンター」が開設され、隣に居場所も開設、有休の県財産を活用して申し分ない環境の中で活動できるようになったこと、また県福祉部の推計値では約 6000 人のひきこもりの人がいると推定されること。そして社会的な問題だという立ち位置、マスメディアの取材にも堂々と顔を出していただけるかは重要なポイントかもしれないこと、「親として腹がくくれているか」初代奥山代表がよく言っていたことなど。以上のように連携という意味からして香川との温度差を強く感じた。約 3 年ごとに担当者が変わる行政、コロナ禍でもあることから行政の顔がよけいに見えないと感じていた。坂本さんの「必死になって走ってきた」の一言に運営、活動の大変さをうかがい知ることができた。(KHJ 高知県親の会「やいろ鳥」の会 坂本 勲)

山崎先生の「ピアサポート」官民連携の意義と課題についても、本当にすべて納得できる内容であった。ある質問に「それは人によりますよ」との明快な回答、そうなんです。すべて関わる人によるんです。(高知県精神保健福祉センター長 (医師)・山崎正雄)

おわり